

九頭竜川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～ダム整備が進んでいる流域だからこそ、洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある流域治水対策～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、九頭竜川水系においても、幸福度※日本一の福井を洪水から守るため、近畿で2番目にダムが多い流域だからこそ洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、戦後最大規模の洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。
 (※全47都道府県幸福度ランキングにおいて4年連続総合1位)

位置図



凡例

- 河 道 掘 削 (河道拡幅を含む)
- 堤 防 拡 築 ・ 築 堤
- 堤 防 強 化 (浸透)
- 捷 水 路 ・ 地 下 放 水 路
- 遊 水 地
- ダ ム
- 浸水範囲(整備計画規模洪水)
- S23年7月梅雨前線 堤防決壊箇所(国)
- S28年13号台風 堤防決壊箇所(国)
- H16年福井豪雨 堤防決壊箇所(県)
- 大臣管理区間



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、築堤、堤防強化、堤防拡築、粘り強い堤防、捷水路、地下放水路、樋門改修、橋梁架替、足羽川ダム建設、吉野瀬川ダム建設、ダム再生、既設ダムの有効活用、河道内樹木伐採、遊水地
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留、調節池
- ・利水ダム等15ダムにおける事前放流等の体制構築、実施(関係者:国、福井県、福井市、勝山市、永平寺町、北陸電力(株)、電源開発(株)等)
- ・砂防堰堤等の整備、治山ダム等の整備
- ・田んぼダム・森林整備・治水効果の検証等

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討
- ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等)の検討
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

- 森林整備 既存15ダムの事前放流
- 既設ダムの有効活用
- 治山ダム整備 治水効果の検証
- 河道内樹木伐採 田んぼダム

岐阜県



マイ・タイムライン講習(国)

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良
- ・ダム下流河川の避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの更新・周知と説明(想定最大規模の降雨を対象)
- ・市町を超えた広域避難計画の検討
- ・災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の避難計画の検討
- ・防災啓発活動を推進させるため、域内全教育委員会へ積極的に働きかける
- ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
- ・高齢者の避難行動の理解促進のための地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携
- ・水位計、量水標、カメラ設置、活用
- ・重要水防施設の情報共有と関係市町による共同点検の実施
- ・洪水時のダムの貯水池の状況を伝えるための手段の充実
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練実施の促進支援
- ・水位周知河川等の見直し・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
- ・庁舎受電設備、非常用発電設備等の浸水対策
- ・水防資材の配備等



足羽川ダム建設(国)



九頭竜川上流ダム再生(国)



利水ダム等事前放流(各機関)

被害の軽減、早期復旧・復興のための各種対策
 土地利用規制等の検討
 立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討



田んぼダムの整備(鯖江市)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。
 ※各ブロックの詳細については、別途詳細図を参照してください。

九頭竜川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ダム整備が進んでいる流域だからこそ、洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある流域治水対策～

● 九頭竜川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。あわせて、県庁所在地である福井市を含めた広大な氾濫原を有する特徴を踏まえ、安全なまちづくり(立地適正化計画に基づく防災指針の検討等)や内水被害軽減対策(雨水排水施設整備等)、調節池・田んぼダム等の流域対策、地区タイムラインの活用等のソフト対策を実施。SDGsに位置付けた持続可能な流域治水により、福井県の幸福度日本一の担保に寄与。

【短期】「足羽川ダム建設」・「吉野瀬川ダム建設」と「日野川改修」により、日野川筋の浸水リスクを低減。

【中期】既存ストックの活用で早急に洪水調節機能を向上させる「九頭竜川上流ダム再生」により、本川筋の浸水リスクを低減。

【中長期】九頭竜川全域で必要な「堤防拡築」を完成させ流域全体の治水安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程				
			短期(5年程度)	中期(15年程度)	中長期(整備計画完了)		
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・堤防拡築・堤防強化	福井河川国道事務所		ダム建設完成	日野川改修	堤防拡築・堤防強化	
	河川改修・遊水地	福井県			河道掘削完成	河川改修・遊水地	
	ダム建設	足羽川ダム工事事務所・福井県	足羽川ダム・吉野瀬川ダム				
	ダム再生	福井河川国道事務所			九頭竜川上流ダム	ダム再生完成	
	既存ダム事前放流	九頭竜川ダム統管理事務所・福井県・福井市・北陸電力・電源開発等		調節池設置完成(福井市)	排水ポンプ更新完成(越前市)	排水ポンプ耐水化完成(鯖江市)	事前放流
	調節池・下水施設・田んぼダム・ため池	福井市・大野市・勝山市・鯖江市・あわら市・越前市・坂井市・永平寺町・池田町・南越前町・越前町					調節池・下水施設・田んぼダム・ため池
	砂防・治山・森林整備(間伐等)	福井河川国道事務所・福井県・岐阜県・滋賀県・市町・福井森林管理署・森林整備センター等					砂防・森林整備
被害対象を減少させるための対策	土地利用規制・誘導(災害危険区域等)検討	各県市町・河川管理者	※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある				
	立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討	福井市・大野市・勝山市・鯖江市・あわら市・越前市・坂井市・越前町				立地適正化計画	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策・早期復興支援	全ての関係機関・福井県防災士会・福井県建築士会					

堤防拡築・堤防強化完成

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

【事業費（R2年度以降の残事業費）】

- 河川対策
全体事業費 約2,484億円 ※1
対策内容 河道掘削、堤防拡築、堤防強化、遊水地 等
- 砂防対策
全体事業費 約12億円 ※2
対策内容 砂防堰堤の整備、治山ダム等の整備 等
- 下水道対策
全体事業費 約318億円 ※3
対策内容 排水施設の更新、雨水貯留施設の設置 等

※1：直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載
※2：直轄砂防事業の残事業費を記載
※3：各市町における下水道事業計画の残事業費を記載

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。